

東京
開催

日本透析医会研修セミナー

透析医療における Current Topics 2020

——長期透析において克服すべき諸問題

開催日

2020年**5**月**17**日(日)

8時45分～16時15分

会場

ソラシティカンファレンスセンター

■プログラム■

総医療費の中の透析医療費をどう考えるか？

● 太田 圭洋 (名古屋記念財団)

長期透析と認知症との関連

● 西村 勝治 (東京女子医科大学精神医学講座)

CKD 透析患者のフレイルと腎臓リハビリテーションの効果

● 上月 正博 (東北大学医学系研究科内部障害学分野)

体外循環の命綱

—バスキュラーアクセスの確保と高齢化における問題点—

● 室谷 典義 (独立行政法人地域医療機能推進機構千葉病院)

透析排水の適正管理

● 峰島 三千男 (東京女子医科大学臨床工学科)

透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについて

—日本透析医学会前提言作成後からの経緯—

● 岡田 一義 (川島病院)

会 費 2,000 円

定 員 400 名 ※定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。

参加申込 ・日本透析医会ホームページからの事前参加申込制となります。
・申込受付開始：2019年3月2日(月) 予定
・日本透析医会会員以外の方もご参加いただけます。

単位取得について

- ① 一般社団法人日本透析医学会の専門医制度(3単位)
- ② 6学会合同認定「慢性腎臓病療養指導看護師」の受験資格ポイント(6ポイント)
- ③ 透析療法合同専門委員会「透析技術認定士」認定更新点数(5点)

問い合わせ先  公益社団法人日本透析医会 事務局

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-15-2 淡路建物ビル2階

TEL : 03-3255-6471 FAX : 03-3255-6474

E-mail : info@touseki-ikai.or.jp

URL : http://www.touseki-ikai.or.jp

日本透析医会研修セミナー

透析医療における Current Topics 2020（東京開催）
「長期透析において克服すべき諸問題」

日 時 2020 年 5 月 17 日（日） 8：45～16：15

会 場 ソラシティカンファレンスセンター

公益社団法人 日本透析医会

開催にあたって

我が国で慢性腎不全に対する維持透析療法が確立され、人工腎臓用濃縮液が認可されたのは1964年のことで、更に1972年には更生医療による医療費カバーが始まっております。従って草創期から透析療法を導入した施設では、ほちぼち50年の節目を経過する頃になろうかと思われます。この間に我が国の透析治療は、法制度的にも、医療技術的にも大きく進歩して来ました。そして現在では患者数が32万例を越え、糖尿病性腎症からの透析導入例が半数を超え、当初は想定しなかった患者の高齢化や認知症の増加などにも直面しております。

日本全体を見ても少子・高齢化の波は留まる様子が無く、当然ながら医療・介護を含めた社会保障費は増加し続ける一方にあります。そこで消費税が8%から10%に増加されました。同時に全ての医療材料の調達費は2%の増加となりましたが、保険医療費を請求する場面ではこれをカバーすることには十分な配慮がされていないという現実があります。この様な問題は消費税が8%に増加した時点でも発生したのですが、これからも日本医師会や日本透析医会と政府・厚労省との真摯な話し合いが必要となっております。

そして昨年も厳しい自然災害に見舞われた年でありました。台風15号、19号による広範囲で大規模な風水害に加えて、21号に伴う大雨被害などが記憶に新しいものであります。当然ながら透析治療には大量の水と電気が必須であり、またしても災害に対しての透析医療の脆弱さが露わとなりました。我々にはこれからも、この様な自然災害に対する備えと訓練を向上・継続することが求められております。

以上の様な諸事情がありながらも、我々は目の前の患者に対して最善の医療を提供し続けなければなりません。その為には常に知識と技術のup-dateが求められております。今回も日本透析医会の年次総会に併せて、「長期透析において克服すべき諸問題」と題して、幅広く講演を頂く計画を企てました。

本セミナーは堅苦しい学会や研究会では御座いませので、素朴な疑問の提示や、自由な質疑・応答をお楽しみ頂くことが可能で御座います。是非ご参加頂いて、セミナーを盛り上げて戴ければ幸甚に御座います。

研修委員会委員長 鈴木正司

プログラム

透析医療における Current Topics 2020（東京開催）

「長期透析において克服すべき諸問題」

- | | | | |
|---|--|--|----------------|
| 8：45－8：55 | 開会の挨拶
趣旨説明 | 日本透析医会会長
研修委員会委員長 | 秋澤 忠男
鈴木 正司 |
| 8：55－9：50 | 「総医療費の中の透析医療費をどう考えるか？」 | 名古屋記念財団
司会：江戸川病院生活習慣病 CKD センター | 太田 圭洋
佐中 孜 |
| 9：50－10：45 | 「長期透析と認知症との関連」 | 東京女子医科大学精神医学講座
司会：東京ネクスト内科・透析クリニック | 西村 勝治
秋葉 隆 |
| 10：45－11：40 | 「CKD 透析患者のフレイルと腎臓リハビリテーションの効果」 | 東北大学医学系研究科内部障害学分野
司会：独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院 | 上月 正博
佐藤 壽伸 |
| 11：40－13：20 昼休み
(11：45－12：25 日本透析医会通常総会) | | | |
| 13：20－14：15 | 「体外循環の命綱
—バスキュラーアクセスの確保と高齢化における問題点—」 | 独立行政法人地域医療機能推進機構千葉病院
司会：つくば国際大学医療保健学部医療技術学科 | 室谷 典義
篠田 俊雄 |
| 14：15－15：10 | 「透析排水の適正管理」 | 東京女子医科大学臨床工学科
司会：川崎クリニック | 峰島三千男
穴戸 寛治 |
| 15：10－16：05 | 「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについて
—日本透析医学会前提言作成後からの経緯—」 | 川島病院
司会：甲田内科クリニック | 岡田 一義
甲田 豊 |
| 16：05－16：15 | 閉会の挨拶 | 研修委員会担当理事 | 穴戸 寛治 |

事前参加申込について

日本透析医会研修セミナーのご参加には、当会ホームページからの事前申込受付が必要となります。下記の要領を熟読の上、参加申込登録を行ってください。

【申込要領】

- ① 個人情報の取り扱いに関する通知と同意画面にて内容確認の上、「同意する」をクリックする。
- ② 必要事項を入力する。（＊部分は必須項目）

- ＊・区分：日本透析医会会員または一般（非会員）
※会員の方は5桁の会員番号を入力してください。
（不明の場合は空欄でも可）
- ＊・職種：医師・看護師・臨床工学技士・その他（入力）
- ＊・姓名（全角）
- ＊・姓名（カナ全角）
- ・所属施設名
- ＊・都道府県
- ＊・電話：所属施設・自宅・携帯
※番号の間はハイフンを入力し、半角数字で入力ください。
- ＊・E-mail アドレス
- ＊・E-mail アドレス（確認用）
※携帯電話・スマートフォンのメールアドレスを入力されますと、受付完了メールが正しく受信できない場合がありますので、PC用メールアドレスを入力ください。

- ③ 確認画面より入力内容をご確認の上、「次へ」をクリックし、情報を送信する。
（入力されたメールアドレス宛に受付完了メールが自動配信されますので、ご確認ください。）

【留意事項】

- ① 誤入力または受付完了メールが届かなかった場合は、当会事務局までメールでお知らせください。重複してお申込手続きを行わないようご注意ください。
- ② キャンセルされる場合は、受付 No. 及び氏名を明記の上、必ず事務局までメールにてご連絡ください。
- ③ 当日は、受付完了メール及び参加費 2,000 円をご持参の上、受付までお越しください。